

DSO参画機関が開催するイベント

■ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) ■

JAXA相模原キャンパスオンライン特別公開

「JAXAでの働き方 ～宇宙科学研究所を中心に～ その2」

- 【日時】2022年10月21日(金) 10:00～17:00
- 【場所】オンライン配信
- 【講師】JAXA職員
- 【対象】DSO参加機関以外も対象(どなたでもご視聴頂けます)
- 【関連情報】<https://www.isas.jaxa.jp/outreach/announcements/003144.html>
- 【備考】

2022年10月22日(土) 10:00～16:30 は、3年ぶりにご来場者をお迎えしての特別公開の開催となります。

場所：相模原市中央区由野台3-1-1 JAXA相模原キャンパス他

特別公開に関する情報は随時更新いたしますので、今後もISASのウェブやツイッター(<https://twitter.com/isasopen?lang=ja>)等でご確認くださいませよう、お願いいたします。

JAXA筑波宇宙センター特別公開

「目指せ！JAXA～職員が語る宇宙開発の仕事と生活～」

- 【日時】2022年11月12日(土) 10:00～15:30
- 【場所】筑波宇宙センター(茨城県つくば市千現2-1-2)
- 【講師】JAXA職員
- 【対象】DSO参加機関以外も対象(どなたでもご参加頂けます)
- 【申込方法】事前予約制(定員を超えた場合は抽選)
- 【関連情報】https://visit-tsukuba.jaxa.jp/info/info_20220921.html
- 【備考】

ご予約方法やイベント情報などは後日お知らせいたしますので、最新情報は筑波宇宙センターtwitter(https://twitter.com/TKSC_JAXA)や、「見学のご案内サイト」でご確認をお願いいたします。

出産・育児・介護 職員のアレコレ体験記①

■ 二人目不妊治療の難しさ ■

約二年かけて不妊治療（※1）した結果、一人目を出産し、ようやく育児にも慣れてきた頃、我が子に弟か妹をつくってあげたいという気持ちがわきました。その理由は住んでいる土地柄にもあります。私の住む町は超がつくほどの田舎まち。当時、近所に小さい子を見かけたことはなく、公園もない。弟か妹がいれば遊ぶ相手がいて、寂しい思いをさせずにすむと思いました。

二人目も不妊治療をすることに決めましたが、一人目のときとは違い、すでに子がいる状態での不妊治療は周りの理解と協力はもとより、自分の体力や精神力も必要でした。片道30キロほどの病院へ毎日排卵誘発剤の注射を打ちに行くことをやめ、自宅で自己注射をすることに決めました。病院に子供は連れて行けないため両親に預けました。職場でも迷惑をかけないように全力で仕事して、周りにしわ寄せがいかないよう努めました。ただ、不妊治療はいつ通院するかが読めないこともあり、病院から「じゃ、また明日来て」なんて言われることもしばしば。当時は「職場に迷惑をかけないようにしなければ」ということばかり考えていたように思います。

今年から私の職場には出生サポート休暇（※2）が新たに追加されましたが、私の時もこんな休暇があったらよかったなあと思う今日この頃です。

（40代ママ職員）



用語解説

（※1）不妊治療

不妊の原因等を調べるための検査、不妊の原因となる疾病の治療、タイミング法、人工授精、体外受精、顕微授精等を指す。「等」に含まれるものとしては、例えば、排卵誘発法がある。

（※2）出生サポート休暇

不妊治療に係る通院等のための休暇のこと。

お勤めの職場により、休暇の有無、休暇の名称、有給か無給などの条件は異なります。

参考）人事院 出生サポート休暇 職員向けQ&A

https://www.jinji.go.jp/ichiran/syussyousupport_syokuinmukeQA.html

出産・育児・介護 職員のアレコレ体験記②

赤ちゃん和妈妈のための子育て支援センター

「子育て支援センター」ってご存じですか。

子育て支援センターは、全国の自治体で見られる乳幼児と保護者のための施設です。私は育児休暇中、何度か利用したことがあります。

育児休暇中は、赤ちゃんと一緒にいられて幸せな反面、孤独を感じてしまったり、社会から取り残されている気分になってしまうこともあります。毎日寝不足で「いつになったらゆっくり寝られるんだろう」なんて、つらくなることもあります。

そんな時は「子育て支援センター」に行ってみてはいかがでしょうか。

ママ同士、子供の月齢が一緒だと悩みが一緒で共感しあえたりしますし、逆に月齢がちょっと違うだけで悩みが全く異なってきて、アドバイスを送りあえたりします。ママ同士で話をしたり、センターの職員の方に話すだけでも気分が軽くなります。

また、おもちゃが豊富なセンターもあり、赤ちゃんも大喜びです。

コロナの影響で使用に制限等が入っている場合もありますが、「子育て支援センター」は、赤ちゃんにもママにもオススメです。

(つくば市の支援センター使用の ママ職員)

「こんにちは」



(夫が無口な ママ職員)

事務局より

令和4年度 DSO総会 と 第1回DSO懇話会 開催報告

令和4年9月30日（木）13時半より、オンラインにて、令和4年度DSO総会 と 第1回DSO懇話会 が開催されました。

総会には、13機関が出席し、以下の議題について承認されました。

- ・令和3年度活動報告
- ・令和4年度活動計画（案）
- ・つくば女性研究者支援協議会との連携について

また新会長には、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 加藤一実(かとうかずみ)理事が選出されました。

懇話会では、11機関の担当者の方にご参加いただき、以下の3つのテーマについて情報交換を行いました。

- ① 国際化の取組について
- ② 女性管理職を増やすための取組について
- ③ 育児介護を理由とする在宅勤務制度について



各機関の取組が紹介された後、活発な意見交換が行われ、非常に有意義な情報交換の場となりました。

ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

ご挨拶

今回の総会を持ちまして、物質・材料研究機構のDSO事務局としての任期は満了となり、産業技術総合研究所に事務局が引き継がれます。

1年間、本当にありがとうございました。物質・材料研究機構は引き続きDSO幹事機関として努めてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

